

市で生まれました。昭和 43 年なので現在 56 才になります。若い時から「老け顔」で、そのまま年齢を重ねました。一般的にどこかで回りが追いつく、と言われますが、まだまだリードしている様です！

父親は大工一家の四男で、祖父が社長。長男は棟梁、次男は設計でした。茂川という苗字は非常に少なく、インターNETによると全国でも 500 名ほどしか居なく非常に珍しく私の親戚以外で同じ苗字で知り合った事は 2 名しかおりません。何か起こせば直ぐにバレます。

職人の家庭に生まれ育った私は、子供心に土曜日も日曜日も仕事をしていて何処にも連れて行ってもらえない職人の仕事が嫌いで、私は絶対にサラリーマンになって通勤すると決めてました。しかし、サラリーマンになって通勤をする事は叶いましたが、同じ建設業の道に入ってしまった、私の子供たちには土曜も日曜も仕事をしていて何処にも連れて行ってあげない親になってしまいました。

高校は神奈川県立でしたが、珍しくアメリカンフットボール部があり、見た目のカッコよさで入部をしました。大学に入ってからアメフトを続けた為、延べ 3 年 + 4 年 = 7 年 ヘルメットを被っていました。しかし、その当時はしっかりと髪の毛はありました。何故だか就職した会社は建設業となり、しかも施工管理。そこから 30 年弱ヘルメットを被ることになりました。その結果、髪の毛が無くなりました。。。この結果は労災では無いかと思っています！

ゼネコンでの工事管理という仕事は、案件ごとに移動をする為、なかなか家から通うということが出来ず、東京支店、横浜支店が中心で、川崎に家を構えましたが、単身赴任が半分くらい。仙台や、海外では中国の上海もありました。しかし、大宮を含む関東支店エリアには赴任経験が無く、また新しい気持ちで大宮にて単身赴任生活を送っております。

ゼネコンでの工事管理 27 年、そして何故だか社内研修センターで 3 年社員教育をしました。しかし、この容姿と老け顔は、作業員や職員（生徒）には比較的有効に機能し、自分なりに満足していましたが、この様な立場で仕事をする様になり、現在一抹の不安を感じております。

2024 年度より労働時間上限規制は法律として建設業にも適用されました。建設業界も数年前から働き方改革、生産性の改善を試みっていますが、仕事量の多さ、職員作業員不足等、逆風が強く、試行錯誤が続いています。が、何十年も、休めない建設業を変えるには絶好のチャンスと考えています。4 月より大宮西ロータリークラブに参画させて頂く事になりました。ロータリーの奉仕の精神、この会員方々の繋がりを大切にして今後の事業活動に生かして良ければと思っております。

## スマイル報告

■ 副 SAA  
井田 人志

